



読書活動への扉を開く！

No. 33

桑村小学校令和5年7月5日 文責 渡邊

「絵手紙」で届ける「豊かな感性」 今年の夏は、「カブト」「クワガタ」「向日葵」に挑戦！

7月4日(火)の朝、いつものように正門に立ち、それから西門に移動して、「おはよう！」と元気よく子供たちに声を掛けると、「校長先生、絵手紙届いたよ。ありがとう」という声が届きました。「クワガタかっこよかったよ！去年のカブトもかっこよかったよね！」と話しかけてくる男の子。今年も全校の桑っ子に絵手紙が届けられたことを嬉しく思います。

校長室の書棚に『心にひびく 愛の絵手紙』（愛知県蒲安市編 日刊工業新聞社 2002年1月）があり、その著書から大切な家族や友達、知人への温かな気持ちや愛、感動等が感じられ、自分も大好きな桑っ子に絵手紙を出したくなったのが今年の夏のことでした。



【1年生の友達へ】



【2年生から5年生の友達へ】



【6年生の友達へ】

今年の夏は、「カブト虫」「クワガタ虫」、そして「向日葵」に挑戦しました。大好きな桑っ子にほのぼのとした温もりが届けられたことを幸せに思います。描いているとき一人一人の笑顔が目に見えてきて、自分も大きな喜びを得ることができました。また、高学年の女子児童より感動的な手紙もいただきました。

いつも明るい校長先生へ

はがきありがとうございました。校長先生も事故とかに気を付けてくださいね。

私は校長先生にあこがれています。なぜかというと、読書のことを全校に伝えたりはがきも毎回一人一人に手書きでかいたりしているからです。それに、いつも人の前で明るい元気な校長先生の声の聞こえ、今日もがんばるぞと力がわくのです。これからも明るい校長先生でいてください。

とても嬉しかったです。お手紙を本当にありがとう！

桑村小学校の子供たちはとても素直で優しいです。私はこの桑村小学校でこうした愛すべき子供たちに囲まれて過ごせることがとても幸せです。大好きな桑っ子の「豊かな感性」がこれからも育むことができるように、全職員で取り組んでいきたいと思っています。これからも保護者の皆様、そして、地域の皆様方、よろしくお願いします。